

国土交通大臣認定品 / (財)日本建築センター性能評価品

# HBL<sup>®</sup> 385

## 建築構造用 550N/mm<sup>2</sup>TMCP鋼材

### 特長

鉄骨コストのミニマム化に貢献します。

鋼材及び溶接部の基準強度は385N/mm<sup>2</sup>です。  
柱・梁等の部材に適用すると、490N/mm<sup>2</sup>級（基準強度325N/mm<sup>2</sup>）に比べ、最大15%程度の鉄骨重量減が可能。  
鋼材強度あたりの経済性に最も優れているため、鉄骨コストのミニマム化に貢献します。

溶接部の破断防止性能が大幅に向上。

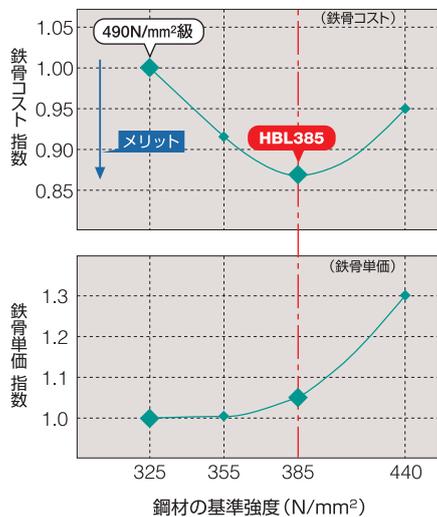
TMCPプロセスの精密なコントロールにより、良好な溶接性を確保しつつ高強度化を実現しました。  
母材シャルピー値は70J以上を保証。大入熱溶接に対しても溶接部の高靱性化を図っています（オプション仕様）。

厚さを12~100mmに拡大。設計の自由度がさらに拡がりました。

厚さ12~19mmに対応した「HBL385B-L」を追加。梁ウェブ等への適用にも威力を発揮します。  
※C材仕様については従来の厚さ（19~100mm）となります。

### 鉄骨コスト試算例

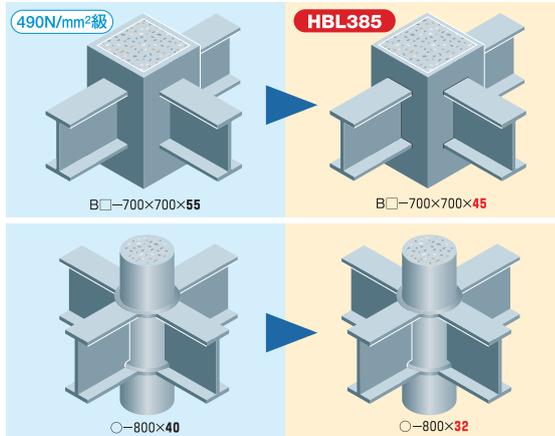
B□-700×700×55 (490N/mm<sup>2</sup>級) ▶ B□-700×700×45 (HBL385) の場合 (右図)



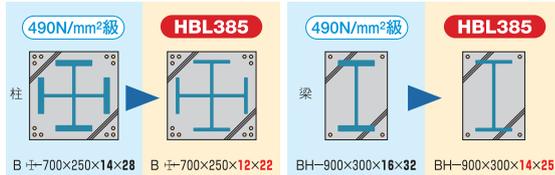
●鉄骨コスト：基準強度に反比例して板厚及び重量が削減できると仮定した場合の鉄骨総コスト

### 適用例

#### S造・CFT造



#### SRC造



※HBLはJFEスチール株式会社の登録商標です。



## JFE スチール 株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2丁目2番3号(日比谷国際ビル)  
 建材センター 建材営業部 建築プロジェクト室 TEL (03)3597-3574 FAX (03)3597-3897